

加佐登小学校学校運営協議会だより

令和3年3月3日（水）



◆第5回学校運営協議会（2月19日開催）

今年度最後の運営協議会でした。この日は、6年生を送る会の様子を視察していただきました。委員の皆様には、これまで継続して学校の様子を視察していただいています。今回は1年間のまとめとして、学校や子どもの様子についての意見をいただきました。

その後、学校関係者評価を受けて、次年度に向けて現在まとめている「今後の改善点」について、その内容や進捗状況の報告を行いました。

◆6年生を送る会を視察した感想

- それぞれの学年が趣向を凝らして発表していた。マスク着用で、子どもたちの表情がみえなかったのが残念だった。6年生もにこにこして、笑い声もあり、楽しめていた。心温まる会であった。さまざまな行事が中止や延期となった今年度、子ども同士が関われる機会として開催できてよかった。
- 子どもたちの一生懸命な姿を目の当たりにして泣きそうになった。様々な制約がある中で、ここまで子どもたちを指導していただいた先生方に感謝する。保護者にもぜひみてもらいたい行事であった。
- 一堂に会してできなかったが、どの学年も工夫し、メッセージ性もあり、コロナ禍で思い出に残る会であった。
- 外国語の挨拶や数え方で大縄を披露した出し物は、外国とつながりのある子どものことを考えてのもので素晴らしい。外国とつながりのある子どもも、学校の仲間として安心できたと思う。
- 送る会最後の6年生から5年生へのたすきのバトンタッチは、ずっと続けてほしい活動です。
- 6年生がその場で感想を考えて話していたので、感心した。6年生の態度が大変よかった。



世界が一つになるまで【1年生】



レッツゴーいいことあるさ【2年生】



6年生が運動会で踊った「Make You Happy」【3年生】



オトナになるって【4年生】



あなたにありがとう【5年生】

（裏面へ）

◆学校関係者評価を受けて学校で作成中の「今後の改善点」について
教員の働き方改革について

1 本会議で賛同を得たこと

- ・ 職員会議（月1回が基本）を職員室で行うようになったが、電話をその時間帯は「会議中です。後ほど、おかけ直してください。」と、留守電対応にする。
- ・ 職員の朝の登校指導を学期1回とし、地域の方のお力をおかりする。
※通学団で起こるトラブルについては、その都度集めての指導は行う。

2 今後、校内で検討を進めていくこと

- ・ 校内で毎月行われている会議の回数の見直し
- ・ 校務分掌の精選と平準化
- ・ 学校行事等のさまざまな見直し

◆鈴鹿市教育委員会事務局（教育支援課）安藤義和先生（学校運営協議会アドバイザー）からの総括

- ・ 6年生を送る会については、体育館は寒かったが、子どもたちは熱気にあふれ、その姿に元気づけられた。また、6年生の態度がすごくよかった。落ち着いており、出し物に対する反応もしっかりしていた。また、それぞれの出し物にきちんとお礼を言えたのも立派だった。
- ・ 5年生は、学校の次にリーダーになる心意気が感じられた。難しい歌を6年生のためにしっかりと歌いきっていた。
- ・ 学校現場は、大変ブラックな職場環境だと言われる。学校運営協議会委員の皆様には、いろいろなところで声をあげていただき、また改善策をご提案いただくことを、今後ともお願いしたい。
- ・ 学校は学校関係者評価の内容をしっかりと受け止め、今後の改善に活かしてほしい。また、一方で成果が出ていることもたくさんあった。良くなった点についても振り返りを行い、それぞれの努力を称えることも大切にしてほしい。
- ・ 今年度で鈴鹿市の全小中学校が学校運営協議会制度を導入して10年になる。その役割や効果について、教職員や地域等に浸透させていく必要がある。

今年度はコロナ禍で、運営協議会委員の皆様には学校の様子を十分に視察していただくことが難しかったです。しかし、委員の皆様をはじめ、保護者・地域の方には登下校の見守りや読み聞かせ、環境整備、学習支援等について、制限のある中でさまざまな工夫をしていただき、感謝しております。ありがとうございました。

今年度、学校運営協議会を年間5回行いました。年度当初、学校経営の改革方針を承認していただきました。

それを踏まえ、年間をとおして、学校の様子を視察していただき、さまざまな意見をいただきました。委員の方はまちづくり協議会、PTA、ボランティア代表、地域コーディネーター、主任児童委員等、さまざまな立場の方で、学校への支援をいただきました。

今後は教育課題を共有し、改善に向けて連携、協働していくことを目指していきたく考えています。

